

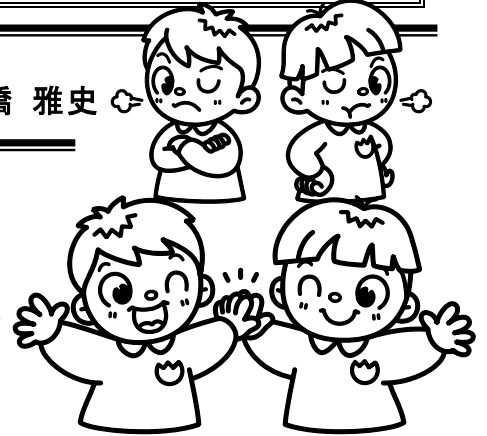
六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校
平成26年10月25日(土)No.9
E-mail isobesho@itoigawa.ed.jp
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>



美しい日本海 豊かな自然 子どもたちの笑顔いっぱい磯部小

「黄金のルール」校長 高橋 雅史



聞き慣れない言葉かもしれませんが、「黄金のルール」という人間関係づくりのための約束事を、全校SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)でも全校朝会でも取り上げて話をしました。「黄金のルール」は、アサーティブ・コミュニケーションという人と人との関わり合い方のマナーの子ども版と考えてよいと思います。

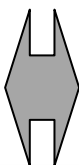
アサーティブ・コミュニケーションは、非攻撃的自己主張と日本語訳されます。簡単に言えば、相手の立場や考え方などを尊重し意見をきちんと聞きながら、自分の思っていることや考えていることもきちんと相手に伝えることを意味しています。

自己主張というと、私たち日本人の感覚では、“自己中心的”や“言った者勝ち”など、なんとなくマイナスのイメージでとらえてしまいがちです。しかし、基本的人権にかかわる問題などでは、“曖昧に”や“穏便に”ではなく、言うべきことはきちんと主張できなければなりません。アサーティブ・コミュニケーションは人権教育の中では重要な考え方であり、子どもたちに是非身に付けさせたい力です。

アサーティブ・コミュニケーションの一つ「黄金のルール」はとても単純です。次の2つのことをいつも心がけることが、子どもたちにとっての「黄金のルール」です。

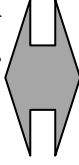
- 1 (自分が)人からしてもらいたくないことは、(自分も)人にしない
- 2 (自分が)人からしてもらいたいようなことを、(自分も)人にする

むしする
からかう
ひいきする
ばかにする



声をかける
なぐさめる
公平にする
ほめる

仲間から外す
にらむ
強く言う
人のせいにする



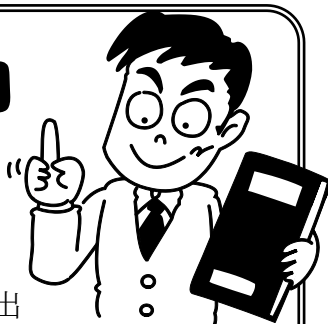
仲間にさそう
笑顔であいさつする
やさしく話す
すなおにあやまる

とても、簡単なルールのようなのですが、子どもたちには(もしかしたら大人でも)そうやすやすとはできません。自分が言ったりしたりしていることが、はたして“人からしてもらいたくないようなこと”なのか“人からしてもらいたいようなこと”なのかに気づけるかどうか、いつも心がけられるかどうか最大のポイントです。

もし、それに気づけてしかもいつも心がけられるならアサーティブ・コミュニケーションはいつでもすぐにでもできるようになります。逆に、いつもその反対の言動なら、「自己中心的で言った者勝ちの人」とまわりから思われても仕方ありません。「黄金のルール」、ぜひ子どもたちに身に付けさせたいと思います。

校長室から

文化祭へのご協力 ありがとうございました



10月18日(土)に平成26年度磯部小学校文化祭を開催いたしました。当日は、多くの保護者の皆様、地域の皆様からお出でいただきました。大変ありがとうございました。

この日のために心を込めて制作してきた図工・家庭科の作品の数々、張り切って練習してきた合唱や合奏の発表、縦割り班ごとに計画し全校で仕上げた段ボールのお菓子の家……。一つ一つの作品や活動に子どもたち一人一人の成長を見ることが出来ました。特に、午後から全校児童が協力しての段ボールの作品づくりは、事前の準備や当日の制作に、PTAの会員の皆様の全面的なご理解とご協力を得て実現させることができました。段ボールをご準備してくださったPTA会長塚田二郎さんをはじめ会員の皆様にご心より感謝申し上げます。

全員が協力して一つの作品を仕上げる活動はなかなかできるものではありません。この素晴らしいチャンス子どもたちに与えていただき、本当にありがとうございました。子どもたちの大きな成長の節目になったと思います。



災害時の児童引き渡し訓練を実施しました

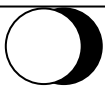
10月10日(金)に地震災害・津波災害を想定した児童の引き渡し訓練を実施しました。磯部小学校は、高台にあり新築で耐震構造もしっかりしているため、地震や津波が起きても安全な避難場所です。しかし、心配なのは幹線道路が海から近いために登下校時に災害に襲われることです。

そのため、今回は“地震→津波の危険性有り・体育館待機→津波の危険性が去ったので保護者に児童の迎えを要請”という形で引き渡しの訓練を行いました。子どもたちだけでなく、保護者の皆様もとても真剣に訓練に参加していただきました。それとともに、引き渡しに関する様々な課題や改善点も浮かび上がってきました。今後、それらに対する対策を検討し体制を整備して、子どもたちの安全に万難を排していきたいと思っております。

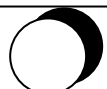


11月の主な行事予定

- 5(水) 全校朝会
- 6(木) 磯部小学校教育懇談会
- 7(金) 委員会活動
- 10(月) 全校SST
- 11(火) 糸魚川市教育研究会研修日(3限・給食後放課)
- 13(木) 子ども貯金日・いじめ見逃し0スクール集会
- 14(金) クラブ活動
- 15(土) 糸魚川市児童生徒図工美術展(きらら青海～17日まで)
- 18(火) 放射線学習会
- 19(水) 児童朝会
- 20(木) 就学時健康診断・第一回移行学級・ジオ学習発表交流会(3・4年生参加)
- 26(水) 発表朝会
- 27(木) PTA三役会・PTA委員会
- 28(金) 委員会活動



10月の磯部小学校



新潟県の人権キャラバン隊が本校を訪問してくださいました。人権について子どもたちが考える、よい機会になりました。



校内マラソン大会では、どの子どもも最後まで力一杯走りぬきました。





日記・作文紹介



マラソン大会後の
4年生の日記と文化
祭後の1年生の日記
をご紹介します。

努力



【四年 井田 つむぎ】
私のマラソンで目標は、六位く七位でした。何とか七位になれたけど、少しくやしいという思いもありました。自分では、全力のつもりだったけど、お客さんがいると、少し力がでなかつた気があとからしてきましました。練習のときは、「本番では」と思っていました。

【四年 丸山 碧】
私は、十月十日に、いそべ小のマラソン大会で千二百メートル走りましました。スタートしてから、みんながいきおいよく走ったので、私も速く走りました。その結果、練習の時より苦しくなつて泣きそうなくらいでした。おり返しの中でも苦しくても走りましました。やっとうゴールしました。練習と同じ順位だったけど、記録はちぢまつたのでうれしかったです。

【四年 七原 航矢】
十月十日にマラソン大会がありました。ぼくは、最初とばしまくつていたのですが、なぜか最後までスタミナがもち、わき腹もいたくなりませんでした。あと十一秒でりょうせいさんのきろくにとどきそうでした。ぼくは、「ラストスパートがもうちよつとはやければよかったかな」と思いました。でも、自己ベストがでてよかったです。

【一年 いけかめ たくみ】
ぼくは、ぶんかさいでうたをがんばりました。たくさんのひとのまえではつびょうしたので、すぐきんちようしました。えやこうさくもじようずにできました。おかあさんとおとうさんがいつぱいほめてくれて、うれしかったです。ダンボールでいろんなはこをくみたてるのがすごたのしかつたです。あのおうちにすみたいたおもいました。おひるにみんなでそとでたべたおべんとうは、おいしかったです。

【一年 いた ゆいな】
わたしは、ぶんかさいではつびょうをがんばりました。さいしよは、ドキドキしていたけどよくできてうれしかったです。一・二年生のはつびょうで、うたをまちがわないうたをうたうとおもつたのに、きんちようして、うまくうたえませんでした。けれど、まちがえたのは、一かいだけだったので、よかったです。じぶんでもきようはよくできたとおもいました。ぜんこうおんがくでも、ボンボンをおとさないようにしました。きようはとてもたのしいいちにちでした。

【六年 内山 穂乃】
私にとつての平和は、戦争や争いごとをなくすことです。私は、これが一番の平和です。平和には、いろいろな意味があります。その中でも、戦争を思い浮かべる人は多いと思います。日本も昔は戦争をしていました。・・・(中略)・・・今では、平和な国として世界の人から知られています。しかし、今も戦争や紛争をしている国は、たくさんあります。本やテレビで見て、戦争はこわいという気持ちは、とても強いです。この前、テレビのニュースで紛争をしている国の映像を見ました。その映像は、子どもが鉄ぼうを持っていたり、鉄ぼうで何かをうっている人の映像でした。争いごとをしてても何もいいことないのと思いました。争わなくても、話し合つて決めればいいのと思いましたが、とは言つても、話し合つても決まらなかつたから戦争になるのはしょうがないという人もいます。でも、戦争をやつても何一ついいことがないということをニュースでよく戦争体験者の人が言っています。いつもは聞き流していたけど、本当はとても大切なことだと思ひます。これさえ覚えておけば、戦争は起きにくくなると思ひます。・・・(以下略)・・・

六年生は、平和について意見を書きました。

